

さまざまな社会的背景を負った日本各地の13人を 7歳の時から7年ごとに描く、長期シリーズ第4弾！

特集番組

「7年ごとの記録 28歳になりました」

放送日：総合テレビ 8月17日（土）深夜 0：05～1：35

このシリーズの取材を開始した20年以上前は、日本の世界的な経済躍進が注目されていた時代でした。その7年後、子どもたちが14歳になった時にはバブル経済は破綻。21歳の時は長期的な不況下で、彼らは悩みながらもそれぞれの道を歩んでいました。

そして今年、28歳になった彼らは、どのように社会を、家族を、未来を感じて生きているのでしょうか。この番組は、13人の肉声によってつづり、ヒューマンなタッチで社会の変化を描き出すドキュメンタリーです。

☆13人の取材先例☆

- ・東京のサラリーマン家庭の貴子。7歳のとき「一番欲しいものは、もう一人の自分」と言うほどお稽古事と塾で多忙な毎日を送っていた。数々の受験を乗り越え、現在はJAL客室乗務員。
- ・人口30人弱、小学校も中学校もない瀬戸内の離島で育った孝枝。14歳の時には不便な島から脱出することを夢見ていた。現在は、島を出て介護福祉士となり、家庭を築いている。
- ・中国残留孤児3世、良男。7歳のとき中国から親戚20人が移住。21歳のときには両親ら親戚のほとんどが日本に馴染めず中国に帰国する中、良男は一人日本に残った。現在はうどんチェーン店の幹部候補生。
- ・佐賀県伊万里焼の窯元の息子、康平。思春期の不登校以来、伊万里を出ることはほとんどない。現在は地元で人形焼き物師に。
- ・沖縄の友人同士の恵理と麻希。現在恵理は家庭を持ち育児休職中、麻希はシングルマザーに。 など

〔宮城県 米農家の長男・健太〕



7歳「大きくなったらお米作る」 14歳「継ぎたくないですね」 21歳「長男はプレッシャー」 28歳「今年やっと工場の正社員になりました」

【制作のきっかけ】

この番組の元となる番組は、イギリスの放送局 I TV が制作したドキュメンタリー「7UP」シリーズ。I TV は、1964年以降、イギリスのさまざまな7歳の子どもたちを、7年ごとに追いつけ、彼らの成長と社会や国家の変化を描き続けてきました。最新作は「56歳」です。NHKはこの手法を取り入れ、1992年より「日本版7UP」の放送を開始しました。また日本と同様に「旧ソ連版」などの各国シリーズも制作されています。

●今後の「7年ごとの成長記録」シリーズ ★Eテレで5週に渡り放送！★

8月30日（金）後11：00～11：55「56歳になりました・イギリス（前編）」

9月 6日（金）後11：00～11：55「56歳になりました・イギリス（後編）」

9月13日（金）後11：00～11：55「28歳になりました・旧ソ連」

9月20日（金）後11：00～11：55「28歳になりました・日本（前編）」／再構成版

9月27日（金）後11：00～11：55「28歳になりました・日本（後編）」／再構成版